社会福祉法人 緑の風後援会
麦の会 会報

麦の会だより

第 56 号
2019 年 11 月
年３回発行

≪緑の風だからできることを≫

現在 長坂の事業所に通所している利用者さんは９名。
20 歳代～80 歳代と世代も幅広く、障害特性も個々で違いがあるため、全員でひとつのことを同じように楽しむという事が段々と難しくなってきました。そこで今年度は、「一斉」にではなく「小単位」で 様々な活動を楽しむ機会を設けました。（ミドリンピックは 昨年をもって、終了いたしました。）
年齢や体力に合わせ、それぞれの興味関心、チャレンジ精神等が存分に満たせる内容であること、本人が率先して活動に参加し楽しめること、それらの活動が次の活動･生活への活力となることを目指し、今年はいろいろな形で様々な所に出かけています。これまで「ミドリンピック」を欠席していた利用者さんも「小単位」で地域に出かけていく機会が増え、良い形で自己表出の場面が増えてきています。

≪花のイベントへ≫

≪動物とのふれあい体験≫

（アルパカ牧場）

≪ボウリング大好き！≫

≪地元のお店でランチ≫

≪電車に乗って甲府芸術祭へ≫

≪自然の川で川遊び≫

≪ハヶ岳周辺へドライブ≫

緑 の 風 か ら

緑の風ホームページ
http://www.midorinokaze.jp

≪働き続けるための支援事業≫

長坂事業所より

平日、休日に関わらず地域をウロウロしていると、ばったりOB/OGさんに会うことがある。こちらから声をかけることもあれば、OB/OG さんが気づいて声をかけてくれることもある。地元のスーパーや駅が比較的多いだろうか。珍しいところでは、職員の子供さんが通っているピアノ教室で（OG さんもピアノを習っていて）毎年発表会の時に会います･･･という人もいる。

お互い急に「あら、久しぶり」なんて社交辞令な挨拶をしながらも、相手の様子を見ながら話しをしていると、緑の風に通所していた頃に比べて「のびのび」「その人らしい」感じがする。
ポツポツと近況を話してくれる人、急にマイブームについて話しだす人、挨拶代わりに腹に一発グーでパンチを食らわす人･･･様々で面白い。何よりも嬉しいのは、「支援員」「利用者」ではなく「地元の知り合い」な感じで挨拶や世間話しができるところだ。

対等な立場での会話は なんだか小気味良い。
話しの内容によってはOB/ OG さんの方が良く知っていることもたくさんある。年齢も性別も立場も超えて、あれやこれやと話している瞬間、私達はなんの障碍（隔てるもの）なくシンプルに関わりを楽しんでいる。私達が目指す「あたりまえの暮らし」というのは、こんな簡単なことから始まるのではないだろうか。もっと自然に、もっと気楽に、関わりを楽しんだら良いと思う。

（長坂事業所 木田友紀子）

≪キャップ分類作業≫

千代田センターより

前回ご紹介した様々な工程に分けて提供しているキャップ分類の作業は、多くの利用者が参加できる作業活動として根付いてきました。最近になって作業量も増えてきたことから、区役所内の各フロアに設置されている自動販売機の隣に回収箱を設置し、キャップ回収のご協力をお願いしています。回収作業自体も利用者がフロア毎に分担し、週に数回の作業になってきました。ＪＳＰちよだはパンの販売や焼き菓子の配達、植栽管理や清掃作業といった多くの外部作業を実施していますが、体力や障害特性などに配慮し利用者の状況に合わせて活動内容や頻度を絞り込んできています。キャップの回収作業については、同じ建物内でもあり負担も少ないため、外部作業に参加しにくい利用者でも、隙間の活動や気分転換にも適した作業になっています。一般就労が難しい方であっても、区役所内であれば活躍できる機会を提供しやすく、重度の障害者であっても働いている姿を見ていただくことは一般の方々にとっても貴重な機会になると思います。このような仕事を足がかりに、区役所内にあるからこそ可能な社会参加の広がりを求めて、利用者が携われる仕事を開拓していきたいと思います。

（千代田事業所　中村公昭）

理事会報告

10 月 24 日（木）に行われました緑の風の理事会報告は、次回の麦の会だより第 57 号に掲載いたします。

麦 の 会 の 活 動

麦の会　連絡先　　TEL：03-3556-3056
〒101-0051　東京都千代田区神田神保町 3-7-1
ニュー九段ビル　㈱緑風舎 気付

「麦の会のつどい」へのお誘い

下記の日程で「麦の会のつどい」を開催いたします。

日　時　：　2020年2月29日（土）12時開宴（11時30分開場）
場　所　：　東京・赤坂　　アークヒルズクラブ
チケット料金　：　9000 円

緑の風の活動、福祉を取り巻く社会の情勢（藤村 出　業務執行理事）
ミニコンサート　演奏：服部芳子（ヴァイオリン）日下知奈（ピアノ）
着席ブッフェスタイルのお食事

皆様お誘いあわせのうえ是非お越しください。詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

チケットのお申し込み
お問い合わせは麦の会事務局まで　・　・　・
TEL：03-3556-3056　　FAX：03-3556-3057
受付時間：　10 時から 16 時　（土・日・祝日を除く）

＊チケットは２０２０年１月より順次発送いたします。

「緑の風カレンダー」2020年版 販売中です！

麦の会では、緑の風の活動をより多くの方々に知っていただき、さらに支援の輪が広がることを願って毎年おなじみの安田薫子さんによるイラスト・カレンダーを製作しています。年末、年始のご挨拶やお友達へのプレゼントなどにご利用ください。皆様からのご注文をお待ちしております。

（収益は緑の風へ寄付と致します）

カレンダーは一部 1,000 円(＋送料)です。（＊送料は、実費をご請求させていただきます。）

ご注文・お問い合わせは　麦の会事務局　　TEL:03-3556-3056　FAX:03-3556-3057　まで
＊購入をご希望の方は、同封の振込用紙をご利用ください。

口、つぶやき（vol.4）

「施設では、ひとりでできるようにならない洗濯、
　　なんと、家では自分でできるようになった」の巻

前号の続き・・・
施設では、社会復帰をめざして、日夜努力が繰り広げられます
生活指導と称して、日常生活のいろいろな活動を自立してできるように指導するのです（30 数年前、現在は「支援」という概念で語られることも、指導訓練の一部でした）
例えば、身の回りの片付け、部屋の掃除、洗濯や洗濯物たたみ・・・

指導と言っても、科学的な根拠に基づくものは少なく、まるでスポ根のようなスパルタ式の指導やら、なんでも繰り返しやっていれば、そのうちできるようになるだろ、みたいな、まるで「竹槍ｖｓＢ２９」のような指導法だったり・・・（今、考えれば、まったくお恥ずかしい内容）

それでも、少しでも自立した活動ができるように、と、ない知恵を振り絞って、ない技術を駆使して・・・
「洗濯機を使って、自分で洗濯をする」というのは・・、自立に向けての課題のひとつと考えられて、多くの利用者がその課題に取り組んでいました

➔　次ページへ続く

← 前ページより

洗濯機の使い方を教えます
当時の家庭用洗濯機は、二槽式
洗濯槽があって、洗いとすすぎをそこでする、脱水槽は別にあって
洗濯物を移して脱水する、というものでした
結構、手順は難しいですね
まず、予洗い、洗濯物を入れて水だけで数分洗う、次に本洗い、洗剤を適量入れて、洗濯物の量や生地によって、決められた時間洗う、終わったら、洗剤の入った洗濯槽の水を抜いて、今度はもう一度水を溜めて、すすぎモード、水を出しながら適切な時間すすぎ続ける（もう少し複雑な手順だと本洗いとすすぎの間に、脱水槽に移して脱水、なんていうのもある）
すすぎが終わったら脱水・・・
簡単なようでいて、けっこう難しいのです
まあ簡単に言うと、幼稚園の子どもに、この手続きを教えるようなものですから・・・
半年、一年、とかけて教えていくのです
それでも、できるようになれば上出来！
施設入所者は、重度の障害者が多く、なかなかこの手続きをマスターできないのです
「まあ、しょうがないね、重度の人には難しいねえ」と、課題は翌期に持ち越し、毎日は漫然と過ぎていくのでした

ところがある日、そんな彼
突然に、家で、自分で洗濯ができるようになった、との報告を受けるのです
愕然としました
こんなに繰り返し、練習していてもできないのに、どうやってできるようになったんだ？、と

お母さんの曰く、
最近は便利な道具がありますねえ
全自動洗濯機、買ったんですよ
ウチの子でも、自分で洗濯できる
すごいですねえ
って

もうすっかり、仕事の自信をなくし、これまでの過ちを反省し
指導訓練が自立への道、という理屈を捨てた瞬間でした
オレたちは、日立や東芝、松下、三菱のエキスパートを育てるのが仕事じゃないはずだ
「障害があっても地域社会で自立して暮らす」という方程式の解法にとってのコペ転でしたね

お知らせ

発達障害支援事業のお知らせ

1）発達障害啓発フォーラム

日　時　：　２０１９年１１月１７日（日）　１４：００　～　１７：００
場　所　：　TKP 神田ビジネスセンター４０１（東京都千代田区神田美土代町 3-2　神田アベルビル）
講　師　：　藤野 博氏（東京学芸大学教授）、日戸由刈氏（相模女子大学教授）、米田英嗣氏（青山学院大学准教授）
司　会　：　本田秀夫（特定非営利活動法人ネスト・ジャパン代表理事、信州大学教授）
演　題　：　「発達障害の人たちの心豊かな生活を考える」
＊詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

2）“第３回”WAMSADD(早稲田発達障害研究会)セミナー

日　時　：　２０１９年１２月２２日（日）　１３：００　～　１７：００
場　所　：　早稲田大学（早稲田大学本キャンパス 11 号館７階 704 教室）
講　師　：　諏訪利明氏（川崎医療福祉大学准教授）
竹村恵子氏（スタッフサービス・ビジネスサポート企業在籍型ジョブコーチ）

編集後記

年々厳しくなる猛暑と自然災害に見舞われた夏が終わりました。抗うことのできない災害に対しての万全な備えとは…とても難しい問題です。皆様いかがお過ごしでしょうか。会員の皆様にはいつも変わらぬ温かいご支援とご協力に心より感謝申し上げます。これからも末永く緑の風を応援してくださいますよう、よろしくお願いいたします。

発行元：麦の会　事　務　局　　〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-7-1　ニュー九段ビル 3F　㈱緑風舎 気付
TEL：03-3556-3056　FAX：03-3556-3057
会費等の振込先　　郵便振込　　00160 - 1－613953　「麦の会」
銀行振込　　三菱 UFJ 銀行　神保町支店　（普）2224536　「麦の会」